



今期の経営計画を発表する中辻社長

中央設計技術研究所

第56期経営計画発表会開く

明年、創立70周年で記念式典

中央設計技術研究所
 (金沢市、中辻英一社長)
 は10月31日、今期のキックオフとなる第56期経営計画発表会を金沢市アトホールで開き、全国の

主要拠点から1500人を超える社員が参加した。全員での経営理念の唱和に続き、中辻社長が今期の経営方針を発表した。このなかで「前期

(第55期)は23億5800万円の受注をはじめ、売上、営業利益ともに過去最高を達成できた」とした上で、今期の目標では顧客満足90%以上の維持や、売上拡大に向けた業務領域の拡大、水コンランキング全国9位、建コンランキング全国75位を目指すことなどを説明。さらに、若手技術者の育成を目的として入社10年未満の社員に経費を支給して学ばせるヤングプロフェッショナル育成支援制度の創設、女性社員のさらなる活躍と女性視点での提案の場として社内女性連絡協議会を設立・推進することを発表した。

また、来年で会社創立70周年を迎えることを記念し、7月1、2日にテーマパークで全役職員や家族を招待し、記念式典の挙行も予定する。発表会では、引き続き各本部長、各部長らが部門・事務所ごとに今期の受注目標や受注計画、具体的な重点施策について発表。管理本部では社員満足の一層の向上、営業本部では受注目標27億円の達成、技術本部では新事業分野の拡重点的な目標とした。

その後、各種検討会・ウィニンググループ報告、第55期表彰として永年勤続表彰や業績表彰などを執り行い、今期計画の達成に向けて全役職社員が決意を新たにした。